

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 (総合進学)	公民科	公民研究	『政治・経済』 (東京書籍)	『政治・経済資料 2024』 (東京法令出版)

1. 授業のねらい

- (1) 民主政治の基本原則、日本国憲法の制定・基本原則、基本的人権、平和主義について理解させる。
- (2) 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合などの国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握し、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について理解させる。
- (3) 貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割、グローバル化が進む国際経済の特質、国際経済における日本の役割について理解させる。

2. 授業の進め方

電子黒板やプリントなどを中心に授業を進める。2学期は基礎学力到達度テスト対策も行う。また、ICT を活用した授業を進める。なお、ICT 機器は指示があるとき以外は、机の中にしまっておくこと。

3. 学習上の留意点

高校2年の公共で扱わなかった政治・経済の分野を学習する。基礎学力到達度テストは、その名称からも分かるように、平易な問題の出題が多い。したがって、反復学習を通じた基本事項のマスターが重要となる。そして、用語を覚える際には、用語を覚えようとするよりもむしろ用語の意味やその内容を理解することが大切である。意味も分からずに用語を覚えても、試験での点数にはつながらない。また、用語をばらばらに覚えても意味はない。授業のどの文脈で使われていたかを意識して覚え、また、用語と用語を関連させて覚えるようにする。こうすることで記憶に残りやすくなり、思い出しやすくなる。授業進度は高校2年の時より早く進める予定である。自ら学ぶ姿勢、意欲的に取り組む姿勢、アクティブラーニングの姿勢が何よりも重要となる。

最後に参考書についてであるが、基礎学力到達度テストのレベルにあったものはほとんどなく、大学入試共通テスト用のものが比較的近いが、それでも内容的には詳しいものになっている。

4. 教科書・副教材

- (1) 教科書『政治・経済』(東京書籍)
- (2) 副教材『政治・経済資料 2024』(東京法令出版)

5. 評価方法

- (1) 定期試験・定期考査3回(100点×3回) 計300点
- (2) 平常点…1学期20点+2学期10点 計30点
- (3) 定期考査、平常点などに基づいて「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について評価する。
- (4) ノート(プリント)提出・課題提出などについてはその都度発表する。

6. 定期考査

授業で扱った事項、試験前に指定した範囲からの出題の他、応用・発展・時事問題を出題することもある。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標			
一 学 期	4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 1 民主政治の成立 2 法と民主政治 3 基本的人権の確立	課題など 中間考査 課題など 期末考査	民主政治の基本原則や日本国憲法の基本原則及び保障されている基本的人権について理解する。また、平和主義と国際貢献について理解する。			
	5	4 現代の民主政治 5 世界のおもな政治体制 2節 日本国憲法の基本原則 1 日本国憲法の制定と基本原則 2 基本的人権の保障 3 平和主義					
	6	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ 1 国際政治の特質 2 国際社会と国際法 3 国際連合の役割と課題			課題など	国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割、国際紛争の諸要因、地域主義、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解する。	
		2節 複雑化する国際政治と日本 1 戦後国際関係の展開と日本 2 冷戦後の国際関係と日本 3 地域主義の動き 4 軍縮の動向と課題 5 紛争・難民・テロリズム 6 国際社会における日本の役割					
		7					基礎学力到達度テスト過去問演習
		8					夏季休業
	二 学 期	9			国際政治、問題演習	基礎学力到達度テスト	基礎学力到達度テストに向けた問題演習などを行い、実戦力を養う。
		10			第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 発展途上国の経済	課題など	貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割、国際経済の特質、環境・エネルギー問題など世界経済の課題について理解する。
11		2節 世界経済の現状と課題 1 グローバル化する世界経済 2 地球環境問題 3 資源・エネルギー問題 4 人口・貧困・感染症	期末考査				
12		冬季休業					

※理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。